平成27年4月26日執行北本市議会議員一般選挙

北本市議会議員候補者選挙公報

北本市選挙管理委員会

ほ んきで ひと中心のまちづくりで北本創生！
◆子育てや女性の活動を応援します！
◆観光事業の充実でまちを元気にします！

ず っと 認知症対策・医療介護体制の充実！
◆地域包括ケアシステムの構築を目指します！
◆高齢者の居場所づくりや介護環境の充実

み んなのために
安心安全・健康長寿のまちづくり！
◆各種がん検診の充実　◆防災地区計画を推進
◆高齢者ボランティアポイント制度の導入

“子ども医療費の窓口払いの撤廃”や“高齢者見守りネットワークの構築”など皆様の声をかたちにして参りました。どうぞご支援よろしくお願いいたします。

プロフィール○1960年生まれ54歳○北本市立石戸小学校、北本中学校、埼玉県立浦和商業高校卒業○㈱資生堂○自宅ラーメン店経理○埼玉県里親会理事○北本市議会1期○保健福祉常任委員会副委員長○広報委員会委員長

ほずみ美代

公明党

実感してからでは遅すぎる

Power UP!!

■対前年比市民人口減少率が鴻巣市の4.8倍。桶川市の4.1倍。■日本創成会議発表消滅可能性都市ランキング埼玉県内ワースト4位■他にも借入れ金の極端な増加など市議会として真剣に取り組まなければならない諸問題は山積しています。北本市の歳入額を増すために本社の誘致等を計っていかなければなりません。

国会議員の政策秘書として、再度政治家としての修行をしなおし、再び市議会への復帰を決意しました。過去には4期16年の議員生活を送り、さらに馬力をアップして、必ず市民の皆様のご期待に添えるよう真剣に取り組んで参ります。引き続きの力強いご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

学歴
昭和31年4月　北本宿村立中丸小学校入学
昭和37年3月　北本町立中丸小学校卒業
昭和40年3月　北本町立北本中学校卒業
昭和43年3月　埼玉県立熊谷高等学校卒業
昭和47年3月　獨協大学経済学部経営学科卒業

石倉一美（かずよし）

あ、いいな♪
この街　この人　この自然
…暮していきたい“まち”づくり

皆さんの声を市政に届け、
いつまでも暮らしていきたい北本をつくっていきます！

街…
●効果的な交通安全対策♪
●想定力を高めた更なる防犯、防災対策を♪
●街全体をバリアフリーな、やさしいまちへ♪

人…
●出産、子育て環境を充実させて、産んで良かった、育てて良かった、北本に♪
●障害福祉を充実させて誰もが笑顔なまちに♪
●地域コミュニティーの活性化による共助ネットワークづくり♪

自然…
●北本のシンボルの雑木林や里山の再生、保全を♪
●地産地消を促進して、良好な農地を減らさない♪
●リサイクルの促進や、ゴミ減量による環境負荷の低減♪

☆プロフィール☆
昭和42年旧浦和市生まれ/細田学園女子高等学校・華学園栄養専門学校卒業
民間会社で給食開発担当/上尾市立富士見小・大谷小では“給食の先生”として勤務
北本市立志すなろ学園(福祉施設)にて栄養士として6年間みんなに元気と笑顔を!
エアロビクスと空手(2段)/夫(公務員)と高校生の息子2人・中学生の娘・うさぎのミミ

今関まさ美（いませき みさ）

民主党公認・連合推薦（48才）

うさぎの町の北本市

大きな **きたもと** 街づくり
市政は経営です。

時代に合った事業創造と未来造り

1 人口減少対策と高齢生活者の為の福祉充実財源確保。〈北本方式 特区〉
少々の税額調整で大きな税収増に。

2 我が北本をけんおう埼玉の中心に
圏央道、上尾バイパス、みなみ北本駅は『未来造り北本の3本の矢』です。

3 街興し、事業興し、西部地区興し、未来事業の創業を
上尾バイパス東側、西側の周辺を活力地域化に。

4 公設市民公園墓地の設置を安価でやすらぎの安住の地を!!
市民の為の公共事業です。

5 議会の権能発揮、議会改革
議会は市民代理の唯一最高の決議、議決機関です。『地方創成』『地方分権』を活かせる市政・議会に。

貫く政策　出来る迄

すわ善一良（ぜんいちりょう）

ISHIN 維新の党 JAPAN INNOVATION PARTY
推　薦

行政を監視・評価 オッチ いまなんじ？

★安心・成長戦略
○ 福祉最優先
○ 安全で安心して暮らせる地域
○ 脱・消滅可能性都市 ▶ 持続可能性都市へ！
・市の予算に頼らず開発者利益を新駅に充当
・税収増 ▶ 福祉関連財源の確保
・既存の周辺マンション、住宅 ▶ 価値向上
・新たな まちづくり ▶ 少子化対策、東京一極集中対策

★言うべきことは、はっきり言う。
議会と首長は住民から直接選ばれた二元代表。議会は首長の追認機関ではありません。
○ 新駅の賛否を問う住民投票条例；反対（25年第3回定例会）
○ 中学校海外ホームステイ基金条例；修正案提出（26年第4回定例会）
政策提言力 No.1 議員提出議案数 議会ナンバー1（共同提出含む）

議員や役人が、身を切る改革。生み出した財源は、市民のために！

挑む！未来に責任

かつらゆうじ

[プロフィール] ○昭和37年生まれ ○芝浦工業大学卒業 ○経歴 日立製作所土浦工場勤務、代議士秘書、埼玉県防衛協会会員、外国商工会議所会頭、大学教授 ○現在 福祉介護事業会社顧問、認知症サポーター養成講座講師、コンサルティング・エンジニア、埼玉県央広域事務組合議会議長、北本市監査委員

● 公費による選挙用自動車リース料金＆燃料費の助成は頂きません。
● 乳幼児のお昼寝時間・朝夕の一部時間帯での街宣カー放送を自粛します。※
※ 家族の団らんや子育て家庭、夜働いて朝寝るライフスタイルなど多様な市民生活に配慮した遊説活動につとめます。

ひとりのために “実績一番”

私「しまの和夫」は初当選以来4期16年間、多くの皆様からご相談・ご要望をいただき、お一人おひとりの声をかたちに実現してまいりました。
今後も「一人の声を大切に」をモットーに政策実現を目指してまいります。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

北本を”あったかい”まちに！

「しまの和夫」のチャレンジ

子育て支援の拡充
・小児科、産婦人科医の確保
・いじめ防止対策の推進

安心・安全なまちづくり
・地区防災計画の策定
・災害対策の強化

地域包括ケアシステムの構築
・医療と在宅介護の充実
・地域包括支援センターの充実

活力あるまちづくり
・企業誘致の推進
・上尾道路の早期開通

プロフィール
○昭和37年8月31日生まれ(52歳)
○西小、北本中、上尾南高、中央工学校(建築設計学科)卒業
○建設会社で現場監督を務めた後、島野工業勤務
○北本市議会議員(4期)市議会副議長、庁舎建設特別委員会委員長、桶川北本水道企業団議会副議長等を歴任

しまの和夫（かずお）

公明党　52歳

安心安全な まちづくりのために
3つの改革　5つの約束

市民主役の安心安全なまちづくり！

市政改革
市民が主役で高齢社会・人口減少社会を見据えたまちづくりをします!!

行政改革
行政情報と人が尊重され「協働でみんなのまち」を目指します!!

財政改革
人口減少に見合う財政体質を整備します!!

目指します！
優しいまち　元気なまち　美しいまち　豊かなまち　便利なまち

くろさわ健一は、安心安全なまちづくりに全力で取り組みます

市民活動を通して見えた疑問や課題を市政に反映させます!

政治活動で経験の活かせた事業と活動
公団住宅の継続家賃値上げ中止と高家賃引き下げを求める請願
南団地の防災公園整備事業を完成
デマンドバスの増便
東間通りの側溝整備事業で、道路を拡幅整備
上尾道路(北本・鴻巣間)の要望活動で事業化
東間地区に公園用地の取得を確保
宮内緑地公園の公有地化に関する要望書
障害福祉サービス事業所を増設又は新設活動

■プロフィール
昭和20年　北本市に生まれる/埼玉県立熊谷農業学校卒業/元宮内中学校PTA会長/元東間深井コミュニティ委員会委員長/元北本市青少年育成市民会議役員/元北本市ゴミ減量等推進市民会議役員/元北本市自治会連合会会長(東間4丁目自治会長)/北本市議(5期)議会議長/上尾道路建設促進議員連盟副会長/埼玉県グラウンド・ゴルフ協会理事長

くろさわ健一（りんとしたまちづくり けんいち）

みなさんの声を幅広く市政に!!

● 福祉 ●
◎高齢者を守り生きがいを持ち安心して暮らせる支援体制の充実。
◎高齢者・障がい者の在宅介護支援体制の整備促進及び介護人材・医療対策の確保。
◎子どもが健やかに育つ「子育て支援システム」の確立。
◎少子高齢社会で総合的・効率的な地域保健、医療及び福祉システムの確立。

● 産業 ●
◎地域の経済を支える商工業の振興支援と雇用体制の確立。
◎中心市街地など地域に密着した商店活性化対策の確立。
◎多彩な地域農産物の生産振興と農業後継者の育成基盤の整備。
◎付加価値の高い都市近郊農業の確立。
◎プレミアム商品券を発行して商店の活性化。

● 教育 ●
◎新しい時代に対応する教育施設の環境を整備し学校教育の推進。
◎個性と創造性をのばし「生きる力」と人を思いやる、やさしい「こころ」をはぐくむ教育の推進。
◎幼児教育の充実と私学助成ならびに教育費の父母負担の軽減。
◎市民スポーツの振興、次代を担う青少年の健全育成、地域に根ざす伝統文化の継承と新しい文化の振興。

● 環境 ●
◎市民の生活を守るための公害の防止など人と自然にやさしい環境の保全。
◎水と緑の調和したうるおいのある自然環境の保全。
◎豊かな環境をもった公園・緑地の整備、都市景観づくりの確立。
◎ヤーフコミュニティ事業を通て安全安心のまちづくりを推進。

横山いさおのプロフィール
昭和19年3月　北本市中央2-103に生まれ育つ

主な経歴
◎北本市農業青年会議所　会長
◎北本市立南小学校PTA　会長
◎埼玉県立北本高等学校PTA　副会長
◎北本市スポーツ少年団 本部長
◎北本市議会　議員(4期)
◎北本地区衛生組合議会　運営委員長
◎埼玉県央広域事務組合議会　議員
◎北本市農業委員会　委員(4期)
◎北本市議会常任委員会　まちづくり委員長
◎北本市議会常任委員会　建設経済副委員長
◎北本市議会　議会運営委員長
◎北本市議会常任委員会　総務文教委員
◎北本市議会　議長(2年)
◎北本市体育協会　副会長
◎桶川北本水道企業団議会議長
◎北本市議会　平成会会長

緑に囲まれた健康な文化都市の実現に向けて
みんなで創ろう豊かな北本

横山いさお（よこやま）

こんな市政は許さない！

■説明責任を果さない無責任なリーダーシップ
新駅の市民説明会9回に市長は一度も出席しませんでした。
リーダーの資格があるのでしょうか。

■市内の人財・企業を活用しない姿勢
西口広場も新庁舎も、市外・県外の人材や企業に依頼、公共事業の30%しか市内発注がありません。

■問題の存在に気付かない鈍感な神経
最近10年の人口減少県内ワースト3、出生数減少県内ワースト1、5年前に気付かなかったのか。人口減少・税収減がもたらす、教育・保育・医療サービスの低下は深刻です。

議員の役割は、公平・公正な視点から、事業と予算の是非を判断することです。企業と市民活動で培った、分析力・判断力・企画力には自信があります。

※詳しくは、インターネットで「高橋伸治」で検索を！

高橋のぶはるのプロフィール
■現職
市議会議員(会派:市民の力代表／建設経済常任委員会副委員長)／北本市商工会理事
■経歴
・1952年生まれ。北本中学校・熊谷高等学校・東京大学経済学部卒業
・外資系の広告代理店で、ネスレ日本・OA導入を担当
・西武セゾングループの企画会社で、ビジネス雑誌の目次を集めた雑誌を企画・発行
・企業イメージコンサルタント会社で、川崎製鉄・伊藤忠商事を担当
・1990年独立、ビジネス書執筆、企業研修講師
■著書
「図解のルールブック」日本能率協会／「マルチメディア時代の文書の書き方・つくり方」PHP研究所／「戦略経営のためのコンサルティング活用法」HBJ出版局／他

高橋のぶはる（たかはし）

無所属63歳

今のままでは
危ない！北本市

4選阻止！
工藤日出夫は、石津市政の4選阻止のため、市長選候補者の一本化を決断しました。しかし、私たち支援者は、市政および議会の革新には、工藤日出夫の活動の場は必要と考えています。工藤日出夫の苦渋に満ちた決断にご理解頂き、再度議会へ押し上げてくださいますようお願い申し上げます。
平田正昭　岡田勝雄　竹村元宏

今こそ「市民の力」が必要ではないでしょうか

元気UPきたもと
●人口減少対策の具体化
●借金依存型財政からの脱脚
●市民の声が届く議会改革
●救急医療・介護体制の強化
●共同型「合葬墓地」の整備
●学童保育など保育体制の強化
●圏央道開通を飛躍のチャンスに

くどうひでお

新党・市民の力公認

いつでも市民目線

住みたい、住み続けたい まちづくり

● 健康長寿のまち
食・運動・スポーツで、社会保障費低減
● 安心・安全なまち
防犯・交通安全対策
● 災害にそなえるまち
共助推進
● 住環境を損なわないまち
企業誘致至上主義の見直し

プロフィール
＊1962年生まれ　埼玉県立越ヶ谷高校卒・千葉商科大学中退
＊1987年　北本団地に入居　現在ワコーレRG北本に居住
＊ワコーレRG北本団地管理組合法人副理事長（理事長６年）
＊ワコーレ防災会副会長
＊北本ホワイトイルミネーション実行委員長（2011年）
５２歳　こども３人　孫２人

日高ひでき

無所属　新人

安心安全な輝く未来を創ろう!!

私は市議会議員として4年間、市民福祉の向上と郷土北本市の発展のために、一生懸命取り組んでまいりました。先人たちが築いてきた郷土北本を更に発展させ次世代の子どもたちに引き継ぐため、今後も初心を忘れず、皆様の声に真摯に向き合い、**熱き心と行動力**で懸命に取り組んでまいります。
皆様のご指導・ご支援をこよりお願い申し上げます。

持続可能な行財政基盤の確立と地域経済の活性化
圏央道・上尾道路の早期開通と南大通線の延伸により優良企業を誘致
商業振興・農業振興による地産地消の推進・流通の拡大
公共施設等アセット・マネジメントの導入による老朽化対策

次代を担う子どもたちが夢と希望を持てる社会の実現
「知・徳・体」の習得による子どもたちの確かな学力と豊かな心の育成
スポーツ振興と青少年の健全育成
通学路の交通安全の確保

高齢者や障がいのある方子育て世代に優しい社会の実現
救急医療の充実による医療環境の整備
総合的な子育て支援の充実と、女性が働きやすい環境整備
高齢者への住まい、医療・介護・予防・生活支援の一体的な提供体制の構築
障がいのある方への医療、保健、福祉の充実と就労支援
食育の推進と、生涯スポーツ等の推進による健康づくりの充実

北本市の魅力向上
生活道路、公園の整備及び農業振興による地産地消への対応
緑の保全と、資源循環型の環境に優しいまちづくりの推進
地域防災・防犯・治安対策の充実強化
空き家の有効利用等空き家対策

開かれた議会
市民目線で行政をチェック

プロフィール／昭和39年北本市高尾生まれ／TOKYO自民党政経塾修了／元石戸小学校PTA会長／元北本市消防団第6分団副分団長／現北本市子ども連絡協議会副委員長
■歴任／北本市議会　建設経済常任委員会委員長・総務文教常任委員会副委員長／埼玉県央広域事務組合議会　監査委員・議会運営委員会副委員長　等

たきせ光一

自由民主党公認

こんな市政は許さない！

■説明責任を果さない無責任なリーダーシップ
新駅の市民説明会9回に市長は一度も出席しませんでした。
リーダーの資格があるのでしょうか。

■市内の人財・企業を活用しない姿勢
西口広場も新庁舎も、市外・県外の人材や企業に依頼、公共事業の30%しか市内発注がありません。

■問題の存在に気付かない鈍感な神経
最近10年の人口減少県内ワースト3、出生数減少県内ワースト1、5年前に気付かなかったのか。人口減少・税収減がもたらす、教育・保育・医療サービスの低下は深刻です。

議員の役割は、公平・公正な視点から、事業と予算の是非を判断することです。企業と市民活動で培った、分析力・判断力・企画力には自信があります。

※詳しくは、インターネットで「高橋伸治」で検索を！

高橋のぶはるのプロフィール
■現職
市議会議員(会派:市民の力代表／建設経済常任委員会副委員長)／北本市商工会理事
■経歴
・1952年生まれ。北本中学校・熊谷高等学校・東京大学経済学部卒業
・外資系の広告代理店で、ネスレ日本・OA導入を担当
・西武セゾングループの企画会社で、ビジネス雑誌の目次を集めた雑誌を企画・発行
・企業イメージコンサルタント会社で、川崎製鉄・伊藤忠商事を担当
・1990年独立、ビジネス書執筆、企業研修講師
■著書
「図解のルールブック」日本能率協会／「マルチメディア時代の文書の書き方・つくり方」PHP研究所／「戦略経営のためのコンサルティング活用法」HBJ出版局／他

高橋のぶはる（たかはし）

無所属63歳

きたもと しあわせ 応援宣言！
聞きます。走ります。一人のために!!

NEW KOMEITO 公明党

岸しょうじのお約束!!
○地域包括ケアシステムの構築（認知症対策、医療と介護の連携や居宅介護の充実など）
○小児科、産婦人科医と病院の確保などの子育て環境の向上
○いじめ対策の強化などの教育課題の克服
○災害対策や防災訓練の充実などで更なる安心安全のまちづくり
○南部地域の都市整備
○上尾道路の早期開通
○観光事業の促進で魅力ある地域づくり

今、北本市も少子高齢化の時代を迎えようとしています。介護・医療の充実はもちろんのこと、今後の北本市の展望を拓くためにも子育てや教育、更には企業誘致や観光事業などにも積極的に取り組んで参ります。皆様より戴いた12年の経験を生かし、全力で市民の皆様のために働いて参ります。

～プロフィール～
昭和27年7月22日生まれ62歳／北本市石戸小・北本中学校卒／埼玉県立熊谷高等学校卒／国際音楽学院卒（中学・音楽教員免許取得）／北本市議会議員（現職3期）／北本市議会副議長（現職）

岸しょうじ（きし）

暮らしの声を議会へ届けます

災害に強い地域のネットワークを大切にする北本へ
安全は行政責務 安心は市民参加で 地域福祉充実へ
子育て、介護、障がい者支援 互助、共助、公助 まちぐるみで

議会はこのまちに暮す人のためにあります。
市政の本質を取り戻したくて、質してきました。
◎公平・公正・バランスのとれた市政運営
◎市民参加の協同のまちづくり

議員は市民の代弁者であり代理人であるべき

人に優しいまちづくりを目指し、北本市の行政改革・議会改革を探究していきます。

市民活動
❀ 生活クラブ生協
❀ コミュニティ委員会
❀ 北本市ごみ減量等推進市民会議
❀ 東間春秋クラブ
❀ 東間八丁目華の会
❀ 電磁波問題を考える会

経歴
・1950年さいたま市生れ
・埼玉県立浦和第一女子高等学校卒
・竹早学園　竹早教員養成所卒
・東京都職員
・TBSキャスタードライバー
・1982年より北本市在住
・1999年より北本市議会議員(4期)
・市議会保健福祉常任委員長

金子まりこ

あなたの暮らしのパートナー
民主党推薦

確かな実績と現場重視を貫きます

即戦力!!

★教育関係の実績！
○西小学校未整備歩道の完成
○西小学校通学路時間規制
○石戸小学校通学路点検整備
○中丸小学校通学路点検整備
○朝日地区通学路歩道整備
○県内で二例目の難病支援
○市内大病院保育所移転に県の補助金を導入

★企業誘致！
○地元雇用の促進
○整った環境の職場
○自主財源の確保
○子育て、高齢者支援に
○地域の活性化
○生活環境の整備
○県の進める企業保育
○待機児童ゼロに

★北本駅東口に元気と魅力を！
○地域からの提案を

★より一層充実した子育て支援！

串田英夫（くしだ ひでお）

北本を消滅させない

民間企業、衆議院議員公設秘書、市議会議員としての経験を生かし安心・安全なまちづくりのため、若さと行動力で全力を尽くします。

市政に「無関心」でいることはできても、「無関係」でいることはできません。積極的にかかわってください。みなさまの声を市政に反映させます。

生まれ育った北本に責任を持ちます
1．安心・安全なまちづくり
●高齢者・障がい者が容易に生活できるまち
●働きながら安心して子育てできるまち
●防災・防犯体制の確立したまち
2．財政の健全化
●人口減少に対する歳入確保の施策
●少子高齢化に対する適切な歳出
3．行政改革の推進
●市民満足度の向上

北本

大島たつみプロフィール
1965年（昭和40年）北本生まれ
北本市立中丸小学校、北本市立東中学校、埼玉県立不動岡高等学校
東洋大学経済学部卒業
三国コカ・コーラボトリング（現コカ・コーライースト ジャパン）他民間企業勤務
衆議院議員公設秘書を経て北本市議会議員１期

大島たつみ（おおしま）

無所属（49歳）

4月26日(日)は投票日

投票時間は、午前7時から午後8時まで

あなたの想い、市政に届け！

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま縮小して印刷したものです。

平成27年4月26日執行北本市議会議員一般選挙

北本市議会議員候補者選挙公報

北本市選挙管理委員会

どこよりも光り輝く北本を！

次代へ残す宝物を！

生まれ育った私のふるさと(北本)。この街を誰よりも良く知り誰よりも愛し、どこよりも住みやすい街にするために、多くの市民と語り話し合って次代へ残す宝ものを創りあげていきたい。

福　祉
○障がい者が安心して生活できる地域づくり
○少子社会における子育て支援の確立
○高齢者に優しい市政の確立

教　育
○「個性と創造性をのばし、生きる力と思いやりのこころをはぐくむ」教育の推進
○青少年の健全育成ならびにスポーツ・レクリエーション、地域文化の振興

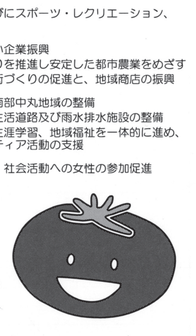
産　業
○地域の経済を支える中小企業振興
○「農」のあるまちづくりを推進し安定した都市農業をめざす
○魅力と活力のある商店街づくりの促進と、地域商店の振興

まちづくり
○圏央道の建設に合わせ南部中丸地域の整備
○幹線道路と地域を結ぶ生活道路及び雨水排水施設の整備
○地域のコミュニティ、生涯学習、地域福祉を一体的に進め、地域の活性化とボランティア活動の支援

女性はつらつ
○男女平等社会の確立と、社会活動への女性の参加促進

かとう 加藤かつあき
無所属

プロフィール
○昭和20年5月　北本市中丸に生まれ育つ
○トマト有機野菜生産販売「加藤農園」経営
○前埼玉県野菜園芸技術研究会会長
○全国野菜園芸技術研究会副会長
○前埼玉県地域指導農家会長
○前北本市農業委員
○北本市議4期　総務常任委員会委員長　副議長
○元北本市立東中学PTA副会長
○元東京農業大学第三高校後援会会長
○北本市議会議長



笑顔あふれるまちづくり

●市民が主役の北本市●

女性目線で市政改革

税金の無駄使いを見直して福祉の充実を！
●思いつきやバラマキでなく確実に継続できる介護・教育・子育て支援の充実。

子育て、教育、介護等の環境整備。
●子どもたちのための保育所、学童保育の充実。
●若い世代が安心して、出産できるように産科医院の拡充（市内2医院しかない）。
●介護者のためのメンタルケアサポート。

世代を超えて支え合える地域、まちづくり。
●若い世代、子育て世代、高齢者や障がい者が、安心、安全に生活できる地域社会の支援システムの充実を計りたい。

無所属 井上けいこ

井上けいこ プロフィール
☆1957年3月　東京生まれ
☆北本市立北本中学校卒業
☆埼玉県立与野高等学校卒業
☆富国生命保険相互会社　法人部
☆エバー産業株式会社
　経理部電算室23年勤務
☆北本市立中丸東小学校
　情報教育指導員
☆佐々木建設株式会社
☆株式会社大塚商会　派遣社員
☆デイサービス「なごみの森北本」
　非常勤職員
☆株式会社大塚商会　契約社員

主な活動
☆チサン第三団地子ども会育成会会長
☆埼玉県立上尾東高等学校PTA役員
☆北本市平和啓発事業 平和を考える集い実行委員会参画
　1994年～2006年
☆国際協力・国際人権ネットワーク・カンボジア地雷被害者支援
　2000年12月「1本のローソク支援」に参加
☆平和を考える集いOB会「平和と緑の会」
　1996年～2014年毎年8月原爆朗読劇上演
☆Peace＆HumanRightsを設立し代表となる横田滋さんを招いて
　2009年11月「横田めぐみさん写真展&お茶会ライブ」を開催
　2011年　2月「横田滋さん講演会&写真展・朗読会」を開催
☆2011年　9月 難病FOPチャリティー講演　ボランティア
☆2015年　3月「絆」2015プロジェクト実行委員会 委員長
　東日本大震災帰還困難者支援チャリティーコンサート

それぞれにそれぞれの声 それを聴くのが私の使命!!

市民の声で北本創生!!

人口の減少と高齢化が進む中、新聞等では三十年後に北本市は消滅可能性都市と言われています。今、皆さん一人ひとりの英知を結集し、諸施策に取り組み、また北本市にある魅力を生かし、持っている可能性を活用できれば、まだまだ北本市は発展し、財政基盤も強化できて、お年よりも若い人も安心して暮らせるまちづくりができます。住みよい活力ある北本市をともに創り上げましょう。

住みよい活力のあるまち
■圏央道や上尾道路を利用したまちづくり
■生活道路等のインフラ整備
■近隣市との連携による利便性向上・効率化

心のかようまち
■お年よりにやさしいまちづくり
■子育て支援
■障がい者の方への支援

人づくりと夢のある
■若い人たちが住み続けるまちづくり
■子どもたちの人間形成と基礎学力の向上

まつしま 修一 しゅういち

プロフィール
昭和24年8月2日（北本生まれ）
石戸小学校
北本中学校
熊谷高等学校
明治大学(商)卒業
日立製作所、日立AP、
日立CM、日立物流勤務
病院理事
伊奈学園総合高校PTA副会長
陣がい者施設勤務

オンリーワンのまちへ！

この素晴らしい魅力を　1　未来につなぐまちづくり

北本市のまちづくりは、よそのまちの模倣ではなく、このまちの歴史や文化、地理的条件の中から、その魅力を最大限引き出す施策をまちづくりの柱とすべきです。都会と田舎の交わる「トカイナカ」が売りに出来る埼玉県でも際立って魅力的なまちなのです。

これがこのまちのブランドです。

●地理的条件を活かす“強い経済”のまち
●里山の原風景を活かす“美”のまち
●持続可能・循環型のまち

主要施策
●福祉施策最優先のため地域ケア体制の整備
●保育の官民連携・充実と小中学校25人学級の推進
●北本の三内丸山遺跡（デーノタメ遺跡）を“国の史跡へ”の強力な住民運動
●高崎沿線で唯一残る市内雑木林や谷津の保全とその活用
●食の安全安心、環境・景観保全に向け「農のあるまち」事業の復活
●スポーツ・文化のまち、高校球児の甲子園への夢を支援（防球ネット整備）
●図書館を文化とするまち・学校図書館の充実
●「中小企業振興条例」を制定し、地元企業・商店とまちづくりを連携

プロフィール
22歳～37歳　北本北・南小学校助教諭・教諭
37歳～44歳　北本市教育委員会市史編さん室室長
44歳～60歳　市議三期
60歳　市長選出馬（次点）14,078票
学習塾経営（明光義塾）　NPO法人 荒川わらの会理事（無農薬有機）
法政大学大学院社会科学研究科政治学修了

北本の三内丸山遺跡を守る！

さんぐう ゆきお 三宮 無所属

財務省経験を活かし北本市政を改革！

北本市は、ここ9年程で人口が3,000人程減少しており、かつ減少は収まる状況ではなく、北本市としては早急に対策しなければならない最重要課題であると考えています。

また、高齢化の時代でもあり高齢者への対策、少子化への対策も重要な課題になっています。

このような厳しい状況である北本市を変えたいという思いから、財務省主計局で国の予算編成に25年携わった経験を活かし、北本市を改革するため精一杯頑張りますのでご支援賜ります様、宜しくお願い致します。

自分の現在の政策目標として、
・ 人口減少対策
・ 高齢者、子供が安全に動けるための道路整備
・ 高齢者が安全・安心に暮らせる環境整備
・ 子供達が、事件に巻き込まれないような安全な環境整備
等に力を注いでいきます。

（プロフィール）
昭和62年　大蔵省主計局　法規課
平成　6年　大蔵省主計局　公共事業総括第2係長
平成11年　大蔵省主計局　文部第1係長
平成16年　預金保険機構　財務部経理第3課長
平成21年　財務省主計局　主計企画官補佐（補助金係主査）

松下けいじ

憲法を暮らしに生かし 市民が主人公のまちづくりを

豊かな学校生活と放課後を
若者を戦場に送る集団的自衛権ノー
みなさんの声を市政に届けます
個人商店と地域商工振興を進める
消費税増税ストップ！
産婦人科病院の拡充を
地産地消を推進し 農業を守る
国保料、介護保険料の負担軽減を

日本共産党 中村よう子

二期8年間の議員活動へのご理解とご支援に、心より感謝申し上げます。安倍政権の国民いじめの政治が庶民の生活を圧迫し、生活相談が増えています。一緒に市役所の窓口に行き、支援の充実を訴え実現してきました。

「国民の苦難のあるところ共産党あり」これが共産党の立党の精神です。安倍政権の暴走を食い止め、生活の防波堤となるべき地方行政の充実をめざして、これからも皆さんと共に力を合わせてまいります。

【プロヒール】
◇宮城県石巻市生まれ
◇石巻女子商業高等学校卒業
◇「ポッポの家」勤務、埼玉県家庭保育室連絡協議会役員
◇北本市議会議員（2期）
◇趣味…ハイキング、歌を歌う

若い力で改革!

これまでも、これからも市民の皆様のより豊かな暮らしに向かって全力を尽くします！

わたなべ良太（29歳）3つのお約束

1 医療・福祉・介護の優れた北本に・・・
高齢者がいつまでも元気で暮らせるまちづくり。
すべての世代で支え合う包括支援を充実させます。
各種検診や予防接種等の支援を拡大していつまでも健康長寿の北本市へ
障がい者福祉サービス事業所とグループホームの整備を行います。

2 日本一の子育て応援都市に・・・
子どもを生み育てやすいまちづくりをします。
産婦人科医院の誘致や、不妊治療助成制度をつくります！
18歳までの医療費助成で子育て世帯の負担を軽減します！
通学路の整備や子ども連が安全に遊べる公園整備！

3 市民の皆様とつくる豊かな北本へ・・・
市民の皆様、一人一人に耳を傾けより豊かな北本をつくります！
議会報告会の継続開催や政務活動費の透明化等、議会のあり方をチェックします。

【プロフィール】1985年、中丸で生まれる（29歳）、北本市立東小学校卒業、北本市立東中学校卒業、栄北高等学校卒業、日本薬科大学医療薬学科中退、(有)エム. アイ. イー入社
2011年、皆様のご支援を頂き最年少（25歳）で北本市議会議員選挙に初当選

無所属 わたなべ良太 りょうた

みなさんの声を市政に届けます

入学前に就学援助費の支給を
若者を戦場に送る集団的自衛権ノー
学校給食費の無償化を
孤独死を出さない 高齢者支援の充実を
夜間救急医療体制の充実を
国保料、介護保険料の負担軽減を
消費税増税ストップ！地域経済の活性化を

市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

市議会議員としてこの4年間、「市民の声を生かし、いのちとくらしを守る市政」を目指してまいりました。毎議会ごとに、子ども医療費の窓口払いの撤廃や少人数学級の拡大、住宅リフォーム助成制度の導入など、何度も取り上げ、実現してきました。

6割の世帯で生活が苦しいと感じ、公的支出は先進国の中でも低いのが日本の現状です。身近な政治である市政が市民の福祉の増進に力を入れるべきと思います。これからもみなさんと共に力を合わせ頑張ってまいります。

【プロヒール】
◇茨城県日立市生まれ
◇小川高等学校卒業
◇新日本婦人の会埼玉県本部
◇小中高PTA役員歴任（北本中 副会長、大宮西高 会長）
◇家族　夫、娘、孫

日本共産党 湯沢 みえ

新しい北本へ３つの決意

１．新駅の実現を！
◇新駅設置の妥当性検証と総合振興計画への反映を
◇市民の声を取り入れた身の丈に合った新駅計画を

２．夢が持てるマチ創りを！
◇北本市が持つ資源・利点を生かしたマチ創りを
◇圏央道・新駅（仮）を活用し圏央地域の振興構想を

３．共助で安心・安全な地域を！
◇地域の自主・自立の活動を支援し共助力ＵＰを
◇少子高齢化・人口減を踏まえ地域活動の見直しを
◇高齢者・子供達の見守りで安心・安全な地域を

皆さんと共に考え、行動し
活力あるマチに創生いたします。

北原まさかつプロフィール
・１９４５年　栃木県生まれ
・栃木県立栃木高等学校卒業、早稲田大学法学部卒業
・民間企業に３８年間勤務し経営も経験
・北本市在住３６年
・前南団地自治会長、南部コミュニテイ委員会副会長
　北本市コミュニテイ協議会研修委員長等歴任

北原まさかつ
無所属

あなたの想い、市政に届け！

期日前投票制度をご利用ください

旅行や仕事などのために投票所へ行けない方は、投票日より前に投票することができます。

■期間　4月20日(月)から4月25日(土)まで
■場所　北本市役所ホール・北本駅西口ビル内
■時間　午前8時30分から午後8時まで

投・開票の状況はホームページでご案内します

携帯電話用　ホームページアドレス
http://www.city.kitamoto.saitama.jp/k/

パソコン用　ホームページアドレス
http://www.city.kitamoto.saitama.jp

ＱＲコードをご利用ください
▲携帯電話用
（機種によっては利用できない場合があります）

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま縮小して印刷したものです。

この公報紙は森林資源保護のため再生紙を使用しております。